

秋田県立横手支援学校

研究部報

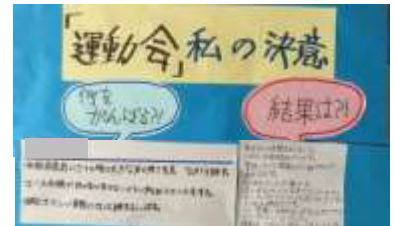


平成28年6月3日発行

第2号

晴天の下、全校児童生徒一人一人が大活躍した運動会となりました。運動会当日は、児童生徒が自分やチームの目標に向かって一生懸命取り組む姿が多く見られました。運動会が終了するとうれしさに歓喜の声を上げたり、悔しさのコメントを残したりと児童生徒一人一人の心が動いた1日になったことを確信しました。

さて、この運動会という節目でライフキャリアの視点から大切なことは、運動会でのがんばりや心の動きを言語化しながら残していくことです。右にあるように、学級等で自分のがんばりや自分の目標への評価を行ってくださっています。是非、個人の振り返りとせずに学級や学年で共有したり、掲示して見える形で残していったりしましょう。加えて、壁面掲示等は、月や時期での学びの振り返りとなります。学期や年度を越えた学びの振り返り（積み上げ）となるように、キャリアノートも活用していきましょう。



生活目標、保健目標、学習目標に関連して

今年度から生活目標、保健目標に加えて、学習目標も全校体制で達成していこうという取組を行っています。そこで、研究部報でも月々の目標に関連する事柄を紹介していきます！

◆意識化を図る◆横手のスタンダードP3

6月の保健目標は、「歯を大切にしよう」となっています。日頃から日常生活の指導等において、歯磨き指導を行っていると思います。歯磨き指導に限らず、身辺処理や生活習慣に関する指導において共通して意識したいことが児童生徒の「意識化を図る」ことです。つまり、なぜ？なんのために？が分かるように指導していくことです。手洗いの指導を例に挙げると、指導のねらいとしては、①手洗いの大まかなスキルを身に付ける。②手が汚れたら洗う。③場所が変わっても正しく手を洗う。④手を洗うことの意味を理解する。⑤手を清潔にしようとする意識をもつ。などが考えられます。元愛媛大学附属特別支援学校長の上岡先生は「意識（意味を理解）して行動できることが大切。」と話しています。児童生徒一人一人指導の方法は異なるとしても、普段行うことの意味を丁寧に押さえながら指導を行っていききたいですね。

場所が変わっても、自ら意識して行動できる力を育てていきましょう！



横手の先生方の👍「いいね！」

このコーナーでは、横手支援学校の先生方のよい授業（学習活動、支援内容、掲示物等）や児童生徒とのよい関わりなどを紹介していきます。

◆活動の構造化◆



←運動会の控えテントに掲示されてあったものの一部です。

運動会は、練習を何度も行い、当日は全体アナウンス等もあるわけですが、全ての児童生徒が少しでも運動会全体や種目への見通しがもてるようにする支援があるとよいですね。

また、左の掲示物においては、発達の段階を考慮してか、時刻やイラスト、ひらがな表記もされています。

*ある特定の児童生徒だけが分かるのではなく、多くの児童生徒が分かる支援であり、あっても邪魔にならない程度の支援というのもよいですね。

★6月は、校外学習、宿泊学習、修学旅行と校外での学習が多く計画されています。普段の学習の成果を発揮したり、学校では経験できないことを地域で学んだりできるよい機会です。一人一人の学びが充実していくように事前・事後学習を大切にしていきたいですね！